

大学教授が社長

メビウスの帯の様に大学と社会は連結した知恵の輪



広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授

森川 則文 もりかわ のりおみ

私は、生まれも育ちも徳島で、県立城北高等学校を経て、昭和56年徳島大学薬学部、58年同大学院修士課程を修了後、香川医科大学医学部附属病院に薬剤師として就職しました。

時代は混沌とし、人力からITへの転換期でした。外来約500人、入院約600人、すなわち1時間当たり2000枚の処方箋と600枚以上の薬袋をプリンターで打ち出し、入院患者情報を自動錠剤包装機へ送り、1回分毎に服用し易いように包装する。今では当たり前の事でも、20年前ではどこの施設でも成功していないシステムをフル稼働させたことが、臨床薬剤師としての出発点でした。ファミリーコンピュータなみのパソコン(20MBのHD)でよく全

てが稼動してくれたものです。合言葉は「無い物は自分達で作る」「余分な物は削る」「出来ない事を出来る様にするのがプロ」でした。それは全てが揃っているという恵まれた環境では育たない、いわば地方の国立大学でしか培われない研究者魂かも知れません。

そのIT化で作りました時間を活用し、薬剤師による臨床研究という新たな道を開拓し、平成5年に徳島大学から薬学博士の学位を授与されたことが、薬学研究者としての出発点でした。その間、大分医科大学医学部附属病院薬剤部に副部長として転勤し、病院管理・リスクマネジメントにも挑戦した結果、文部科学技官職が広島大学医学部総合薬学科の教授を拝命し、臨床薬剤師育成という薬学教育者としての道を踏み出すこととなりました。

振り返ると、就職と2度の転勤は常に0からの出発であり、薬剤師免許と経験だけが私の武器でした。信念の「出る杭は打たれるが、出すぎた杭には届かない」を信じ、常に前向きで、既成の枠に囚われないことを信条とし、平成15年にはNPO法人「ひろしまがん治療開発推進機構」、平成17年には広島大学発ベンチャー企業「(有)ファーマシスト・サポート」を設立し、臨床医と臨床薬剤師

育成・再教育用Web教材の「患者百選」を、製薬企業と抗菌剤のPK/PD解析ソフト「オメガモン博士」を共同開発し、昨年販売に至りました。

大学院卒業後、医療技術者として専門性を高め続けた結果が研究者や教育者の道を開き、大学での研究成果(知的財産)が企業経営に進展しました。メビウスの帯の様に大学と社会は連結した知恵の輪であり、大学教授が社長も時流です。現役大学生も社会のニーズを知り、時代の流れに身を任せ、可能性に挑戦する研究者魂を持ち続けることを希望します。

出身地

徳島県名西郡石井町高川原1198

略歴

- 昭和52年 徳島県立城北高等学校 卒業
- 昭和56年 徳島大学薬学部製薬化学科 卒業
- 昭和58年 徳島大学大学院薬学研究所修士課程 修了
- 昭和58年 香川医科大学医学部附属病院薬剤部・薬剤師
- 平成3年 大分医科大学医学部附属病院薬剤部・副部長
- 平成14年 広島大学大学院医歯薬学総合研究科・教授
- 平成15年 広島大学医学部附属病院医薬治療センターおくすり治療部副部長(併任)

免許

- 昭和56年 薬剤師免許下付
- 平成12年 介護保険 介護支援専門員免許下付

学位

平成5年 薬学博士(徳島大学 乙薬第8号)

- NPO法人「ひろしまがん治療開発推進機構」副理事長
- 広島大学発ベンチャー企業「(有)ファーマシスト・サポート」取締役
- 広島市介護認定審査会委員
- 呉市技術アドバイザー
- 認定薬剤師 日本臨床薬理学会認定薬剤師 研修指導薬剤師
- 日本病院薬学会認定薬剤師 指導薬剤師
- 日本薬剤師研修センター認定薬剤師 指導薬剤師

